

## 1 サムエル記

ハンナ=恵の意味

1:3 この人は、毎年自分の町から上って行き、シロで万軍の【主】を**礼拝し**、いけにえを献げることになっていた。そこでは、エリの二人の息子、ホフニとピネハスが【主】の祭司をしていた。

礼拝し=シャハー◀ 7812. shachah (חַשַׁח) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改 4)礼拝し ★

1:5 ハンナには特別の受ける分を与えていた。【主】は彼女の胎を閉じておられたが、彼がハンナを愛していたからである。

1:7 そのようなことが**毎年行われ**、ハンナが【主】の家に上って行くたびに、ペニンナは彼女の怒りをかき立てるのだった。こういうわけで、ハンナは泣いて、食事をしようとしなかった。

毎年 =たとえつらい時でも忠実に宮に行った

- チャレンジ
- ・①不妊
  - ・②人間関係（不理解）

1:8 夫エルカナは彼女に言った。「ハンナ、なぜ泣いているのか。どうして食べないのか。どうして、あなたの心は苦しんでいるのか。あなたにとって、私は十人の息子以上の者ではないか。」

男と女の違い、夫は慰めているつもり

1:10 ハンナの心は痛んでいた。彼女は激しく泣いて、【主】に祈った。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

1:12 ハンナが【主】の前で長く祈っている間、エリは彼女の口もとをじっと見ていた。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

1:11 そして誓願を立てて言った。「万軍の【主】よ。もし、あなたがはしための苦しみをご覧になり、私を心に留め、このはしためを忘れず、男の子を下さるなら、私はその子を一生の間、【主】にお渡しします。そしてその子の頭にかみそりを当てません。」

1:13 ハンナは心で祈っていたので、唇だけが動いて、声は聞こえなかった。それでエリは彼女が酔っているのだと思った。

1:15 ハンナは答えた。「いいえ、祭司様。私は心に悩みのある女です。ぶどう酒も、お酒も飲んでではありません。私は【主】の前に心を注ぎ出していたのです。

@心を=(へ)魂を=nephesh 5315

@サムエルとサムソンの違い、サムソンには彼のために祈る、教える親、リーダーがいなかった。

1:17 エリは答えた。「安心して行きなさい。イスラエルの神が、あなたの願ったその願いをかなえてくださるように。」

1:17 Then Eli answered and said, "Go in peace, and the God of Israel grant your petition which you have asked of Him."

@言った=エリにとっては単なる言葉だったがハンナにとっては励ましのことばだった。

1:18 彼女は、「はしためが、あなたのご好意を受けられますように」と言った。それから彼女は帰って食事をした。その顔は、もはや以前のようではなかった。

1:18 And she said, "Let your maidservant find favor in your sight." So the woman went her way and ate, and her face was no longer sad.

1:19 彼らは翌朝早く起きて、【主】の前で**礼拝をし**、ラマにある自分たちの家に帰って来た。エルカナは妻ハンナを知った。【主】は彼女を心に留められた。

礼拝をし=シャハー◀ 7812. shachah (השח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改 4)礼拝し ★

1:20 年が改まって、ハンナは身ごもって男の子を産んだ。そして「私がこの子を【主】にお願いしたのだから」と言って、その名をサムエルと呼んだ。

サムエル=◀ 8050. Shemuel (שמעון) 140 回▶ 人名

彼の名は神の意味◀ 8034. shem 864(שמ) 回▶+◀ 410. el (אל) 248 回▶

1 : 2 0 ①不遇を祈りに、②不妊を豊かに ③夫もエリも勘違いの中で ④いけにえを捧げる

1:22 しかしハンナは、夫に「この子が乳離れして、私がこの子を連れて行き、この子が【主】の御顔を拝して、いつまでもそこにとどまるようになるまでは」と言って、上って行かなかった。

1:23 夫のエルカナは彼女に言った。「あなたが良いと思うようにしなさい。この子が乳離れするまでとどまりなさい。ただ、【主】がそのおことばを実現してくださるように。」こうしてハンナはとどまって、その子が乳離れするまで

乳を飲ませた。

@乳離れするまで=幼少時代に両親の愛を受けることができなかつたので彼の家庭も崩壊した（1サム 8:3-5）

@あなたの良いと思うようにしなさい=夫は権威を取らず、適切なアドバイスをしなかつた

1:26 ハンナは言った。「ああ、祭司様。あなたは生きておられます。祭司様。私はかつて、ここであなたのそばに立って、【主】に祈った女です。

祈る = ◀ 6419. palal (לָלַן) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

1:27 この子のことを、私は祈ったのです。【主】は私がお願いしたとおり、私の願いをかなえてくださいました。

祈る = ◀ 6419. palal (לָלַן) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

1:28 それで私もまた、この子を【主】におゆだねいたします。この子は一生涯、【主】にゆだねられたものです。」こうして彼らはそこで【主】を礼拝した。

礼拝した = シャハー ◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改 4) 礼拝した ★

彼らは・・・礼拝した = 複数形 = 恵理も含めて

= 主の御業（あかし）は周りにいる人を礼拝へと導く

2:1 ハンナは祈った。「私の心は【主】にあつて大いに喜び、私の角は【主】

によって高く上がります。私の口は敵に向かって大きく開きます。私があなただけの救いを喜ぶからです。

ハンナは祈った＝主に捧げた後、預言があった

2:10 【主】は、はむかう者を打ち砕き、その者に天から雷鳴を響かせられます。【主】は地の果ての果てまでさばかれます。主が、ご自分の王に力を与え、主に油注がれた者の角を高く上げてくださいますように。」

2:11 エルカナはラマにある自分の家に帰った。幼子は、祭司エリのもとで【主】に仕えていた。

2:20 エリは、エルカナとその妻を祝福して、「【主】にゆだねられた子の代わりとして、【主】が、この妻によって、あなたに子孫を与えてくださいますように」と言い、彼らは自分の住まいに帰るのであった。

【主】にゆだねられた子＝（NKJ）彼女が祈り、主が与えたもの  
（共）2:20 「主に願って得たこの子の代わり」

（改2）主がお求めになった者

2:20 And Eli would bless Elkanah and his wife, and say, "The Lord give you descendants from this woman for the loan that was given to the Lord." Then they would go to their own home. (NKJ)

祝福する＝バラク◀ 1288. (גבר)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改4)。

2:23 それでエリは彼らに言った。「なぜ、おまえたちはそんなことをするのか。私はこの民の皆から、おまえたちのした悪いことについて聞いているのだ。

なぜ = それは父が善悪を教えなかったから

聞いている = 自分で見ていない

2:24 息子たちよ、そういうことをしてはいけない。私は【主】の民が言いふらしているうわさを聞くが、それは良いものではない。

そういうことをしてはいけない = 口先だけで実践が無いしつけ

2:25 人が人に対して罪を犯すなら、神がその**仲裁をして**くださる。だが、【主】に対して人が罪を犯すなら、だれがその人のために**仲裁に立つ**だろうか。」しかし、彼らは父の言うことを聞こうとしなかった。彼らを殺すことが【主】のみこころだったからである。

仲裁する = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

彼らを殺すことが【主】のみこころだったからである

@ 御心でも、それをただ眺めるだけでなく、何か改善するべきである。

@ (2 歴 25 : 20) 神から出たことで、彼らを敵の手に渡す為であった

2:29 なぜあなたがたは、わたしが命じたわたしへのいけにえ、わたしへのささげ物を、わたしの住まいで足蹴にするのか。なぜあなたは、わたしよりも自分の息子たちを重んじて、わたしの民イスラエルのすべてのささげ物のうちの、最上の部分で自分たちを肥やそうとするのか。

わたしよりも自分の息子たちを重んじて

2:30 それゆえ——イスラエルの神、【主】の**ことば**——あなたの家と、あなたの父の家は、永遠にわたしの前に歩むとわたしは確かに言ったものの、今や——【主】の**ことば**——それは絶対にあり得ない。わたしを重んじる者をわたしは重んじ、わたしを蔑む者は軽んじられるからだ。

2:31 見よ、その時代が来る。そのとき、わたしはあなたの腕と、あなたの父の家の腕を切り落とす。あなたの家には**年長者がいなくなる**。

2:35 わたしは、わたしの心と思いの中で事を行う忠実な祭司を、わたしのために起こし、彼のために**確かな家**を建てよう。彼は、わたしに**油注がれた者**の前をいつまでも歩む。

確かな = ◀ 539. aman 108 回 ▶ 信じる、確かにする、(ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉)

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse)の語源(2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

油注がれた者 = ◀ 4899. mashiach (מָשִׁיחַ) 39 回 ▶ (N)油注がれた者

= 王達 (王様をサムエルが立てるゆえ) or キリスト

2:36 あなたの家の生き残った者はみな、銀貨一枚とパン一つを求めて彼のところに来て**ひれ伏し**、『どうか、祭司の務めの一つでも私にあてがって、パンを一切れ食べさせてください』と言う。」

ひれ伏し=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) \*bow (KJV)crouch (INT) \*bow (改4) ひれ伏し

3:1 さて、少年サムエルはエリのもとで【主】に仕えていた。そのころ、【主】のことばはまれにしかなく、幻も示されなかった。

当時の霊的状态の現れ

3:2 その日、エリは自分のところで寝ていた。彼の目はかすんできて、見えなくなっていた。

彼の目はかすんできて=霊的状态の現れ、 モーセは目がかすまず(申34:7)

3:7 サムエルは、まだ【主】を知らなかった。まだ【主】のことばは彼に示されていなかった。

サムエルは、まだ【主】を知らなかった= いつも宮にいたのにかかわらず  
@ (3:19) 主は彼と共におられた

3:9 それで、エリはサムエルに言った。「行って、寝なさい。主がおまえを呼ばれたら、『【主】よ、お話しください。しもべは聞いております』と言いなさい。」サムエルは行って、自分のところで寝た。

@主がおまえを呼ばれたら、・・・と言いなさい。」

他の人に「主が語ってますよ」といわれるまで気がつかなかった

3:10 【主】が来て、そばに立ち、これまでと同じように、「サムエル、サムエ



ル」と呼ばれた。サムエルは「お話しください。しもべは聞いております」と言った。

(出3 : 4) (イザヤ6 : 8) (使徒9 : 10)

3:11 **【主】**はサムエルに言われた。「見よ、わたしはイスラエルに一つのことをしようとしている。だれでもそれを聞く者は、両耳が鳴る。

**【主】**はサムエルに言われた = 4章の戦いの20年前

3:13 わたしは、彼の家を永遠にさばくと彼に告げる。それは息子たちが自らにのろいを招くようなことをしているのを知りながら、**思いとどまらせなかった** 咎のためだ。

(NKJ) he did not restrain them

思いとどまらせなかった = ◀ 3543. (קָהַח) kahah 8回 ▶ = Definition: to be or grow dim or faint

かすませる、

とがめるという意味で使用されているのは聖書でこの箇所だけ。

他の箇所はかすむ、消沈するなど

(改4)で咎めると訳されている他の箇所

Ⅱサム 3:8 ・ ・ ・ それなのに今日、あなたは、あの女のことで私をとがめるのか。

◀ 6485. paqad 302回 ▶ Definition: to attend to, visit, muster, appoint

ヨブ 34:29 神が黙っておられるなら、だれがとがめることができるだろうか。・ ・ ・

◀ 7561. rasha 35回 ▶ Definition: to be wicked, act wickedly 一番多いのが condemn,

ゼカ 3:2 【主】はサタンに言われた。「サタンよ、【主】がおまえをとがめる。・・

◀ 1605. gaar 14 回 ▶ Definition: to rebuke

3:13 わたしは、彼の家を永遠にさばくと彼に告げる。それは息子たちが自らにのろいを招くようなことをしているのを知りながら、思いとどまらせなかった咎のためだ。

・・・を知りながら、思いとどまらせなかった咎のためだ= @少なくともミニストリーを奪う事が出来たはず

エゼキエル 3:18 わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

エゼキエル 33:4 角笛の音を聞いた者が警告を聞き入れないなら、剣が来てその者を討ち取るときに、その血の責任はその者の頭上にある。

3:18 サムエルは、すべてのことをエリに知らせて、何も隠さなかった。エリは言った。「その方は【主】だ。主が御目にかなうことをなさるように。」

@滅びの預言の目的は滅ぼす為ではなく、悔い改めに導き、方向を変えるためである。しかし彼は御心だと受け入れてしまっている。

@霊的な態度に見えるが、方向転換が無い。=悔い改めが無い。

@それゆえさばきが来た

第1サムエル 3:13 わたしは、彼の家を永遠にさばくと彼に告げる。それは息子たちが自らにのろいを招くようなことをしているのを知りながら、思いとどまらせなかった咎のためだ。

@ 実際には長い時間（4：1「行きわたった頃」）主は忍耐して待っておられた

3:19 サムエルは成長した。【主】は彼とともにおられ、彼のことばを一つも地に落とすことはなかった。

3:20 全イスラエルは、ダンからベエル・シェバに至るまで、サムエルが【主】の預言者として堅く立てられたことを知った。

堅く立て＝◀ 539. aman 108回▶信じる、確かにする、（ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉）

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse)の語源(2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

4:1 サムエルのことばが全イスラエルに行き渡ったころ、イスラエルはペリシテ人に対する戦いのために出て行き、エベン・エゼルのあたりに陣を敷いた。一方、ペリシテ人はアフエクに陣を敷いた。

行き渡ったころ＝ずいぶん時間がたってから

@モーセ以来3，4百年ぶりの預言者

4:3 兵が陣営に戻って来たとき、イスラエルの長老たちは言った。「どうして

【主】は、今日、ペリシテ人の前でわれわれを打たれたのだろう。シロから【主】の契約の箱をわれわれのところに持って来よう。そうすれば、その箱がわれわれの間に来て、われわれを敵の手から救うだろう。」

@靈的に聞こえるが迷信である

@主を求めず箱を求めた

シロ＝

4:4 兵たちはシロに人を送り、そこから、ケルビムに座しておられる万軍の【主】の契約の箱を担いで来させた。そこに、神の契約の箱とともに、エリの二人の息子、ホフニとピネハスがいた。

@座しておられる＝（へ） ◀ 3427. yashab ▶座る、とどまる、宿る

@ ともに ・ ・ ホフニとピネハスも いた ＝ ◀ 5973.( םַּשׁ) im

▶ Definition: with

@罪人も一緒に来た

4:7 ペリシテ人は恐れて、「神が陣営に来た」と言った。そして言った。「ああ、困ったことだ。今までに、こんなことはなかった。

@靈的イスラエルはペリシテ人より強いが肉的イスラエルはペリシテ人より弱い

4:9 さあ、ペリシテ人よ。奮い立て。男らしくふるまえ。そうでないと、ヘブル人がおまえたちに仕えたように、おまえたちがヘブル人に仕えるようになる。男らしくふるまって戦え。」

ペリシテ人よ。奮い立て。男らしくふるまえ＝@悪霊は靈的世界で優位にある事を知ったので奮い立たせた

4:10 こうしてペリシテ人は戦った。イスラエルは打ち負かされ、それぞれ自分たちの天幕に逃げ、非常に大きな打撃となった。イスラエルの歩兵三万人が倒れた。

非常に大きな打撃となった。=(改2) 非常に激しい疫病が起こり、=(共) 打撃は非常に大きく、

4:19 彼の嫁、ピネハスの妻は身ごもっていて出産間近であったが、神の箱が奪われて、しゅうとと夫が死んだという知らせを聞いたとき、陣痛が起こり、身をかがめて子を産んだ。

身をかがめて=カラ◀ 3766.(  $\text{y} \text{r} \text{c}$ ) kara 36 回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS) kneeled down (KJV) bowed herself (INT) kneeled (改4)身をかがめて

@第1列王記 18章 42節のひざまづくは出産の姿勢だといわれているが疑問だ。なぜなら別の単語の「ガハール」だから。

第2列王 4:35 それからエリシャは降りて、部屋の中をあちらこちらと歩き回り、また寝台の上に上がり、子どもの上に身をかがめると、子どもは七回くしゃみをして目を開けた。

ひざまずいて=◀ 1457. Gahar ( $\text{גָּהָר}$ ) 3回▶ひざまづく(第1列王 18:42)、身をかがめる(第2列王 4:35)、身を伏せる(第2列王 4:34)

4:15 エリは九十八歳で、その目はこわばり、何も見えなくなっていた。

5:1 ペリシテ人は神の箱を奪って、エベン・エゼルからアシュドデまで運んで来た。

アシュドデ=◀ 795. Ashdod ▶地名 (意味)Powerful を意味する。要塞の意味という教えもある

5:2 それからペリシテ人は神の箱を取り、ダゴンの神殿に運んで来て、ダゴンの傍らに置いた。

5:3 アシュドデの人たちが、翌日、朝早く起きて見ると、なんと、ダゴンは【主】の箱の前に、地にうつぶせになって倒れていた。そこで彼らはダゴンを取り、元の場所に戻した。

元の場所に戻した==びっくりしたのにしらを切った。悪霊は自分が不利でもそのそぶりを見せない

5:4 次の日、朝早く彼らが起きて見ると、やはり、ダゴンは【主】の箱の前に、地にうつぶせになって倒れていた。ダゴンの頭と両手は切り離されて敷居のところにあり、胴体だけがそこに残っていた。

ダゴン=◀ 1712. Dagon ▶

@由来はダグ◀ 1709. dag ▶魚。

dag=魚の意味。ダゴン像は半人半魚の像ゆえに主はその組み合わせを立ちきった

5:9 それがガテに移された後、【主】の手はこの町に下り、非常に大きな恐慌を引き起こし、この町の人々を上のも下のもみな打ったので、彼らに腫物

ができた。

ガテ=◀ 1661.(גַּת) Gath▶地名。ワインプレスの意味。それは敵を打ち砕くことを意味する

5:10 ガテの人たちは神の箱を**エクロン**に送った。神の箱がエクロンにやって来たとき、エクロンの人たちは大声で叫んで言った。「私と私の民を殺すために、イスラエルの神の箱をこっちに回して来たのだ。」

エクロン=◀ 6138. Eqrn (עֲקָרוֹן) 22回▶地名。(意味) 移民、根から引き抜かれた

6:5 あなたがたの腫物の**像**、つまり、この地を破滅させようとしているねずみの**像**を造り、それらをイスラエルの神に貢ぎとして献げなさい。もしかしたら神は、あなたがたと、あなたがたの神々、そしてあなたがたの地の上のしかかっている、その手を軽くされるかもしれません。

像=◀ 6754. tselem (צֶלֶם)(ツェレム) 17回▶イメージ、姿。 像(民 33:52)(1サム 6:5)

創世記 1:26 神は仰せられた。「さあ、人をわれわれの**かたち**として、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」

@似姿は別の単語@◀ 1823. demuth (דְּמוּת)(デムース)25回▶ 似たもの、似姿。 像(2歴代誌 4:3)

6:6 なぜ、あなたがたは、エジプト人とファラオが心を硬くしたように、心を

硬くするのですか。神が彼らに対して力を働かせたときに、彼らはイスラエルを去らせ、イスラエルは出て行ったではありませんか。

@ 400年たっても語り継がれていた。

6:7 今、一台の新しい車を用意し、くびきを付けたことのない、乳を飲ませている雌牛を二頭取り、雌牛を車につなぎ、その子牛は引き離して小屋に戻なさい。

6:8 また、【主】の箱を取って車に載せなさい。償いとして返す金の品物を鞍袋に入れて、そのそばに置きなさい。そして、それが行くがままに、去らせなければなりません。

6:12 雌牛は、ベテ・シェメシュへの道、一本の大路をまっすぐに進んだ。鳴きながら進み続け、右にも左にもそれなかった。ペリシテ人の領主たちは、ベテ・シェメシュの国境まで、その後について行った。

ベテ・シェメシュ=太陽の家

ベテ・シェメシュの人=ユダヤ人

大路=◀ 1870. derek ▶道、距離、旅路、やり方

6:16 ペリシテ人の五人の領主は、これを見て、その日エクロンに帰った。

@これを見て=敵はわれわれを見ているが一定の境を越えては来れない。

6:18 すなわち、金のねずみは、五人の領主に属するペリシテ人の町の総数によっていた。それは、砦の町と城壁のない村の両方を含んでいる。彼らが【主】の箱を置いたアベルの大きな台は、今日までベテ・シェメシュ人ヨシュアの畑



にある。

城壁のない村＝田舎の村

村＝◀ 3724. Kopher(コフエル)(כֹּפֶר) 17 回▶ タール(創 6:14)、償い金(出 21:30)、村(I サム 6:18)

ヘンナ樹(雅 1:14)、賄賂(アモ 5:12)

6:20 ベテ・シェメシュの人たちは言った。「だれが、この聖なる神、【主】の前に立つことができるだろう。私たちのところから、だれのところに上って行くのだろうか。」

7:1 キルヤテ・エアリム Qiryath Y@`ariym (יערימ) (קרית) =City of forest  
森の町

キルヤテ＝森。 エアリム町、市

アビナダブ (אַבִּינָדָב) Abiynadab = "my father is noble" or "my father is willing"

エルアザル (אֵלְעָזָר) 'El`azar = "God has helped"

7:3 サムエルはイスラエルの全家に言った。「もしあなたがたが、心のすべてをもって【主】に立ち返るなら、あなたがたの間から異国の神々やアシュタロテを取り除きなさい。そして心を【主】に向け、主にのみ仕えなさい。そうすれば、主はあなたがたをペリシテ人の手から救い出してください。」

①心のすべてをもって ②立ち返る ③取り除き ④心を主に向け ⑤主のみに仕える ⑥救い出される

7:4 イスラエル人は、バアルやアシュタロテの神々を取り除き、【主】にのみ仕えた。

彼らは言われたことを実行した。

7:5 サムエルは言った。「全イスラエルを、ミツパに集めなさい。私はあなたがたのために【主】に祈ります。」

祈る = ◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

### ⑦ 祈る

7:7 イスラエル人がミツパに集まったことをペリシテ人が聞いたとき、ペリシテ人の領主たちはイスラエルに向かって上って来た。イスラエル人はこれを聞いて、ペリシテ人を恐れた。

### ⑧ 敵の攻撃

7:9 サムエルは、乳離れしていない子羊一匹を取り、焼き尽くす全焼のささげ物として【主】に献げた。サムエルはイスラエルのために【主】に叫んだ。すると【主】は彼に答えられた。

### ⑨ 献げる

7:12 サムエルは一つの石を取り、ミツパとエシェンの間に置き、それにエベン・エゼルという名をつけ、「ここまで【主】が私たちを助けてくださった」と言った。

### ⑩ ここまでは主が助けた

7 : 1 2 エベン=石 エゼル=助ける、

私達は主が許してくださった範囲内で歩む

7:14 ペリシテ人がイスラエルから奪い取っていた町々は、エクロンからガテまでが、イスラエルに戻った。イスラエルはペリシテ人の手から、その領土を解放した。そのころ、イスラエルとアモリ人の間には平和があった。

8:4 イスラエルの長老たちはみな集まり、ラマにいるサムエルのところにやって来て、

@自分の願い（やり方）を携えてサムエルの所に行ったのでは無い

8:5 彼に言った。「ご覧ください。あなたはお年を召し、ご子息たちはあなたの道を歩んでいません。どうか今、ほかのすべての国民のように、私たちをさばく王を立ててください。」

ご子息たちはあなたの道を歩んでいません。＝

@サムエルほど主に仕えても、子供が主の道を歩むとは限らない

@それはサムエルが親から育てられてはおらず、模範がエリだったからであろう。

8:6 彼らが、「私たちをさばく王を私たちに与えてください」と言ったとき、そのことばはサムエルの目には悪しきことであった。それでサムエルは【主】に祈った。

祈る＝◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回▶(V)干渉する、とりなしする、祈る

8:15 あなたがたの穀物とぶどう畑の十分の一を取り、廷臣や家来たちに与える。

廷臣=(改 2)宦官(これは間違いであろう)英語の主要訳はどれも officers

廷臣=◀ 5631. saris (סָרִיס) 42 回▶ 廷臣(Ge37:36) (1 サム 8:15)

42 回中 38 回が宦官、ただし、最初の 4 つは(改 4)でも宦官とは訳されていないし

その次の 4 つは(改 4)でそう翻訳されているが、英語の主要聖書では主に officials と訳されている。

[https://biblehub.com/hebrew/strongs\\_5631.htm](https://biblehub.com/hebrew/strongs_5631.htm)

8:20 そうすれば私たちもまた、ほかのすべての国民のようになり、王が私たちをさばき、私たちの先に立って出陣し、私たちの戦いを戦ってくれるでしょう。」

@他の全ての国民のようになり」、信仰により歩む民が見えるものにより歩むのを求めた

@彼らの話の中に神という言葉は出てこない。神が先頭に立つことを退けた

9:2 キシュには一人の息子がいて、その名をサウルといった。彼は美しい若者で、イスラエル人の中で彼より美しい者はいなかった。彼は民のだれよりも、肩から上だけ高かった。

@彼は美しい容姿だった。

9:3 あるとき、サウルの父キシュの雌ろば数頭がいなくなったので、キシュは息子サウルに言った。「しもべを一人連れて、雌ろばを捜しに行ってくれ。」

@本来奴隷の仕事であるが忠実だった

9:4 サウルはエフライムの山地を巡り、シャリシャの地を巡り歩いたが、それらは見つからなかった。さらに、シャアリムの地を巡り歩いたが、いなかった。ベニヤミン人の地を巡り歩いても、見つからなかった。

御心を受け取る型

- ①助言を聞く（9：6）私たちの行くべき道を教えてくれるでしょう。
- ②肯定的発想（9：7）

9:13 町に入ると、あの方が見つかるでしょう。あの方が食事のために高き所に上られる前に。民は、あの方が来られるまで食事をしません。あの方がいけにえを祝福して、その後で、招かれた者たちが食事をするところになっているからです。今、上って行ってください。あの方は、すぐに見つかるでしょう。」祝福する＝バラク◀ 1288. (ברך)barak 330回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

9:15 【主】は、サウルが来る前の日に、サムエルの耳を開いて告げておられた。

サウルが来る前の日に＝主は一日前になってその計画を伝えた

9:19 サムエルはサウルに答えた。「私が予見者です。私より先に高き所に上りなさい。今日、あなたがたは私と一緒に食事をするのです。明日の朝、私があなたを送ります。あなたの心にあるすべてのことについて、話しましょう。

(共 2) サムエルはサウルに答えた。「私がその先見者です。あなたはまず高き所に上って行き、今日は私と一緒に食事をしなさい。明朝、あなたを送り出すとき、あなたの心にあることをすべてお話しします。 @改4)とほぼ同じ

(共) あなたの心にかかっていることをすべて説明します

9:21 サウルは答えて言った。「私はベニヤミン人で、イスラエルの最も小さい部族の出ではありませんか。私の家族は、ベニヤミンの部族のどの家族よりも、取るに足りないものではありませんか。どうしてこのようなことを私に言われるのですか。」

最も小さい = @士師の時代に滅びかけた。彼のコンプレックスの現れ

10:5 それから、ペリシテ人の守備隊がいるギブア・エロヒムに着きます。その町に入るとき、琴、タンバリン、笛、豎琴を鳴らす者を先頭に、預言をしながら高き所から下って来る預言者の一団に出会います。

出会います= ◀ 6293.(נָפַג) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

琴= ◀ 5035. nebel 38 回▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

水袋と訳される(ヨブ 38:37)

袋、皮袋(ブドウ酒の)と訳される (1 サム 1:24) (1 サム 10:3) (1 サム 25:18) (2 サム 16:1)

琴と訳される (1 サム 10:5)( 2 サム 6:5) (1 王 10:12)(1 歴 13:8、15:16、15:20、15:28、16:5、25:1、25:6) (2 歴 5:12、9:11、20:28、29:25、) (ネへ 12:27)(詩編 57:8、71:22、81:2、108:2、150:3)(イザヤ 5:12、14:11)(アモス 5:23、6:5)

十弦の琴の「琴」と訳される (詩編 33:2、92:3、144:9、)

壺と訳される (イザヤ 22:24、30:14)(エレミヤ 13:12、48:12) (哀歌 4:2)

琴、タンバリン、笛、豎琴=預言にはつきもの

10:6 【主】の霊があなたの上に激しく下り、あなたも彼らと一緒に預言して、新しい人に変えられます。

第2列王記 2:12 エリシャはこれを見て、「わが父、わが父、イスラエルの戦車と騎兵たち」と叫び続けたが、エリヤはもう見えなかった。彼は自分の衣をつかみ、それを二つに引き裂いた。

エペソ 4:22 その教えとは、あなたがたの以前の生活について言えば、人を欺く情欲によって腐敗していく古い人を、あなたがたが脱ぎ捨てること、

@しかしかれは古い自分を脱がずに新しい力を着た

10:7 これらのしるしがあなたに起こったら、自分の力でできることをしなさい。神があなたとともにおられるのですから。

自分の力でできることをしなさい=(改2) 手当たりしだいに何でもしなさい。

(NKJ) do as the occasion demands あなた

が必要に応じて行動するように

10:10 彼らがそこからギブアに行くと、見よ、預言者の一団が彼の方にやって来た。すると、神の霊が彼の上に激しく下り、彼も彼らの間で預言した。

10:22 人々はさらに、【主】に「あの人はもう、ここに来ているのですか」と尋ねた。【主】は「見よ、彼は荷物の間に隠れている」と言われた。

10:26 サウルもギブアの自分の家へ帰って行った。神に心を動かされた勇者たちは、彼について行った。

10:27 しかし、よこしまな者たちは、「こいつがどうしてわれわれを救えるのか」と言って軽蔑し、彼に贈り物を持って来なかった。しかし彼は黙っていた。

@よこしまな者 = (へ) ベリヤアルの子ら = worthless, good for nothing, unprofitable, (R) 怠け者

@サウルは黙っていた = 自信のなさ、働きが小さいうちは思慮部かさに見える。

用いられはじめると、その実が  
決断力の無さであることがわかる

11:5 そこへ、サウルが牛を追って畑から帰って来た。、、、」 = 王としての生活をしていない。

11:1 さて、アンモン人ナハシュが上って来て、ヤベシュ・ギルアデに対して陣を敷いた。ヤベシュの人々はみな、ナハシュに言った。「私たちと契約を結んでください。そうすれば、あなたに仕えます。」

ヤベシュ・ギルアデ」 = ユダヤ人の町

ヤベシュ = (へ) 乾いた ◀ 3003. Yabesh (יָבֵשׁ) 24 回 ▶

ギルアデ (へ) 岩の多い地 ◀ 1568. Gilad (גִּלְאָד) 134 回 ▶

11:2 アンモン人ナハシュは彼らに言った。「次の条件でおまえたちと契約を結ぼう。おまえたち皆の者の右の目をえぐり取ることだ。それをもってイスラエル全体に恥辱を負わせよう。」

@イスラエル全体に恥辱を負わせよう = 敵はこちらが譲歩しても満足しない



11:3 ヤベシュの長老たちは彼に言った。「イスラエルの国中に使者を遣わすため、七日の猶予を与えてください。もし、私たちを救う者がいなければ、あなたのところに出て行きます。」

11:4 使者たちはサウルのギブアに来て、これらのことばを民の耳に語った。民はみな、声をあげて泣いた。

11:5 ちょうどそのとき、サウルが牛を追って畑から帰って来た。サウルは言った。「民が泣いているが、いったい何が起こったのか。」彼らは、ヤベシュの人々のことばを彼に告げた。

11:6 サウルがこれらのことばを聞いたとき、神の霊がサウルの上に激しく下った。彼の怒りは激しく燃え上がった。

11:7 彼は一くびきの牛を取り、それを切り分け、使者に託してイスラエルの国中に送り、「サウルとサムエルに従って出て来ない者の牛は、このようにされる」と言った。【主】の恐れが民に下って、彼らは一斉に出て来た。(改4)

12:3 さあ今、【主】と主に油注がれた者の前で、私を訴えなさい。私はだれかの牛を取っただろうか。だれかのろばを取っただろうか。だれかを虐げ、だれかを打ちたたいたであろうか。だれかの手から賄賂を受け取って自分の目をくらましたであろうか。もしそうなら、あなたがたにお返しする。」

油注がれた者 = ◀ 4899. mashiach (מָשִׁיחַ) 39回 ▶ (N)油注がれた者

12:5 サムエルは彼らに言った。「あなたがたが私の手に何も見出さなかったことについては、今日、あなたがたの間で【主】が証人であり、主に油注がれた者が証人である。」そこで、ある人が「証人は」と言う、

(改 2)すると彼らは言った。「その方が証人です。」

(NKJ) ." And they answered, "He is witness."

@こちらが正しそう

第1サムエル 2:35 わたしは、わたしの心と思いの中で事を行う  
忠実な祭司を、わたしのために起こし、彼のために確かな家を建  
てよう。彼は、わたしに油注がれた者の前をいつまでも歩む。

12:18 そしてサムエルは【主】を呼び求めた。すると、【主】はその日、雷と  
雨を下された。民はみな、【主】とサムエルを非常に恐れた。

@雷と雨 =サムエルが主から遣わされたものである証明

12:19 民はみなサムエルに言った。「私たちが死なないように、しもべのもの  
のために、あなたの神、【主】に祈ってください。私たちは、王を求めること  
によって、私たちのあらゆる罪の上に悪を加えてしまったからです。」

祈る = ◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

12:23 私もまた、あなたがたのために祈るのをやめ、【主】の前に罪ある者  
となることなど、とてもできない。私はあなたがたに、良い正しい道を教えよう。

祈る = ◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

@祈るのをやめるのは罪

13:7 あるヘブル人たちはヨルダン川を渡って、ガドの地、すなわちギルアデ  
に行った。しかしサウルはなおギルガルにとどまり、兵たちはみな震えながら

彼に従っていた。

13:8 サウルは、サムエルがいることになっている例祭まで、七日間待ったが、サムエルはギルガルに来なかった。それで、兵たちはサウルから離れて散って行こうとした。

ギルガル」、=Strong's H1537 - Gilgal = "a wheel, rolling"

13:9 サウルは、「全焼のささげ物と交わりのいけにえを私のところに持って来なさい」と言った。そして全焼のささげ物を献げた。

@いけにえが解決ではない、宗教の霊

13:10 彼が全焼のささげ物を献げ終えたとき、なんと、サムエルが来た。サウルは迎えに出て、彼にあいさつした。

あいさつした=バラク◀ 1288. (𐤁𐤏𐤅)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS): greet あいさつ (KJV): salute

13:11 サムエルは言った。「あなたは、何ということをしたのか。」サウルは答えた。「兵たちが私から離れて散って行こうとしていて、また、ペリシテ人がミクマスに集まっていたのに、あなたが毎年の例祭に来ていないのを見たからです。

@間違い①見えるも（民が去るのを見た）のに信仰をおいた（創 3：6）

②疑った、サムエルは来ないと思った

13:12 今、ペリシテ人がギルガルにいる私に向かって下って来ようとしているのに、まだ私は【主】に嘆願していないと考え、あえて、全焼のささげ物を献

げたのです。」

13:13 サムエルはサウルに言った。「愚かなことをしたものだ。あなたは、あなたの神、【主】が命じた命令を守らなかった。【主】は今、イスラエルにあなたの王国を永遠に確立されたであろうに。

@愚かな事=不従順

13:14 しかし、今や、あなたの王国は立たない。【主】はご自分の心にかなう人を求め、【主】はその人をご自分の民の君主に任命しておられる。【主】があなたに命じられたことを、あなたが守らなかったからだ。」

@計画を与え備える主に逆らってどのようにして王国を治めれるのか

13:19 さて、イスラエルの地には、どこにも鍛冶屋を見つけることができなかった。ヘブル人が剣や槍を作るといけない、とペリシテ人が言っていたからであつた。

13:22 戦いの日に、サウルやヨナタンと一緒にいた兵のうちだれの手にも、剣や槍はなかった。ただサウルと息子ヨナタンだけが持っていた。

@剣がない」、当時のイスラエルの現状

@ペリシテ人はただ「剣を作るといけない」と言っていただけであるにもかかわらず。

14:1 そのようなある日、サウルの息子ヨナタンは、道具持ちの若者に言った。「さあ、この向こう側のペリシテ人の先陣の方へ行こう。」しかし、ヨナタンは父にそのことを知らせなかった。

14:6 ヨナタンは道具持ちの若者に言った。「さあ、この無割札の者どもの先陣のところへ渡って行こう。おそらく、【主】がわれわれに味方してくださるだろう。多くの人によっても、少しの人によっても、【主】がお救いになるのを妨げるものは何もない。」

14:10 しかし、もし彼らが『おれたちのところの上って来い』と言ったら、上って行こう。【主】が彼らを、われわれの手に渡されたのだから。これが、われわれへのしるしだ。」

@彼が思い込みで語ったのかもしれないが主はそれを尊重した。

14:13 ヨナタンは手足を使ってよじ登り、道具持ちも後に続いた。ペリシテ人はヨナタンの前に倒れ、道具持ちがうしろで彼らを打ち殺した。

うしろで彼らを打ち殺した＝ とりなし

14:15 そして陣営にも野にも、すべての兵のうちに恐れが起こった。先陣の者、略奪隊さえ恐れおののいた。地は震え、非常な恐れとなった。

14:21 それまでペリシテ人について、彼らと一緒に陣営に上って来ていたへ  
ブル人も転じて、サウルとヨナタンとともにいるイスラエル人の側につくようになった。

@この世にはまっていたクリスチャンが立ち返る」の型

14:24 さて、その日、イスラエル人はひどく苦しんでいた。サウルは、「夕方、私が敵に復讐するまで、食物を食べる者はのろわれよ」と言って、兵たちに誓わせていた。それで兵たちはだれも食物を口にしていなかったのであった。

@意味のない宗教的行為によって民衆を苦しめるリーダーの型

@勝利を素直に喜ばず民に圧迫を与えた

14:27 しかし、ヨナタンは、父が兵たちに誓わせたことを聞いていなかった。彼は手にあった杖の先を伸ばして、蜜蜂の巣に浸し、それを手に付けて口に入れた。すると彼の目が輝いた。

@蜜を食べよ（箴言 24 : 13）

14:31 その日彼らは、ミクマスからアヤロンに至るまでペリシテ人を討った。それで兵たちはたいへん疲れていた。

14:32 兵たちは分捕り物に飛びかかり、羊、牛、若い牛を取り、その場で屠った。兵たちは血が付いたままで、それを食べた。

@厳しすぎる宗教的行為の反動でより悪くなる民の型

@この彼らの行為によってヨナタンへの非難が増した。けれど本来ヨナタンとは別の出来事。

14:37 サウルは神に伺った。「私はペリシテ人を追って下って行くべきでしょうか。彼らをイスラエルの手に渡してくださるのでしょうか。」しかしその日、神は彼にお答えにならなかった。

しかしその日、神は彼にお答えにならなかった＝御声が聞こえない時に人は宗教的に陥る

14:41 サウルはイスラエルの神、【主】に「みこころをお示してください」と言った。すると、ヨナタンとサウルが取り分けられ、民は外れた。

14:42 サウルは言った。「私か、私の息子ヨナタンかを決めてください。」する

とヨナタンが取り分けられた。

確立 4分の1のいんちき占い

@宗教の霊は過去の栄光（サウルが王に任じられた時の方法（1サム10：21））を模倣するが実際はいんちきである、

@もし自分に当たっていたら、いつわりの悔い改めをして終わりであっただろう。

14:44 サウルは言った。「神が幾重にも罰してくださるように。ヨナタン、おまえは必ず死ななければならない。」

@無慈悲

15:2 万軍の【主】はこう言われる。『わたしは、イスラエルがエジプトから上って来る途中で、アマレクがイスラエルに対して行ったことを覚えている。

（出 17:8

@モーセの両手を上げさせた出来事の戦い

申命記 25:17 覚えていなさい。あなたがたがエジプトから出て来たとき、その道中でアマレクがあなたにしたことを。

25:18 彼らは神を恐れることなく、あなたが疲れて弱っているときに、道であなたに会い、あなたのうしろの落伍者をすべて切り倒したのである。

15:3 今、行ってアマレクを討ち、そのすべてのものを聖絶しなさい。容赦してはならない。男も女も、幼子も乳飲み子も、牛も羊も、らくだもろばも殺しなさい。』

聖絶しなさい=◀ 2763. charam (חָרַם)52回▶(V) 捧げる、滅ぼす、消す

15:6 サウルはケニ人たちに言った。「さあ、アマレク人のもとを離れて下って行きなさい。私があるがたを彼らと一緒にするといけないから。あなたがたは、イスラエル人がみなエジプトから上って来たとき、親切にしてくれたのです。」ケニ人はアマレク人の中から離れた。

@「ケニ人」、モーセの血縁、出エジプトの協力者

15:9 サウルとその兵たちは、**アガグ**と、肥えた羊や牛の最も良いもの、子羊とすべての最も良いものを惜しんで、これらを聖絶しようとしなかった。ただ、つまらない値打ちのないものだけを聖絶したのである。

アガグ=◀ 90. Agag (אגג)8回▶人名、アマレクの王、「私は乗り越える」という意味)

◀ 91. Agagi (אגגי) 5回▶(A)アガグの、ハマンを説明する言葉(HUB)

@聖絶のものを自分の物にしてはならない(申13:17)

@「アガグ」=Agag="I will overtop" 私は乗り越えるの意味

@アマレクはハマン(エステル3:1)の先祖である。この時にとどめを刺していなかったので後にイスラエル人は苦しんだ。

特にモルデカイはベニヤミン人キシユの子の家系

アガグ(1サムエル15:8)

アガグ人(エステル3:1)

15:11 悔いいる」=《RV》悲しい

15:11 主に向かって叫んだ」、=とりなし

15:11 「わたしはサウルを王に任じたことを**悔やむ**。彼はわたしに背を向け、わたしのことばを守らなかったからだ。」それでサムエルは怒り、夜通し【主】に向かって叫んだ。



主に向かって叫んだ」、=とりなし

悔やむ=《R V》悲しい

◀ 5162. nacham (נחם)(ナハム)108回▶慰める、悲しむ、悔いる

@以下の箇所でもナハムを「悔やむ」と訳していますが、正確ではありません。

Iサム 15:11 「わたしはサウルを王に任じたことを悔やむ。彼はわたしに背を向け、わたしのことばを守らなかったからだ。」それでサムエルは怒り、夜通し【主】に向かって叫んだ。

Iサム 15:29 実に、イスラエルの栄光である方は、偽ることもなく、悔やむこともない。この方は人間ではないので、悔やむことがない。」

15:12 翌朝、サムエルはサウルに会いに行こうとして早く起きた。すると、サムエルに、「サウルはカルメルに来て、もう自分のために記念碑を立てました。そして向きを変えて進んで行き、ギルガルに下りました」という知らせがあった。

記念碑を立てる=プライド

記念碑=◀ 3027. yad (יָד) 1617回▶手、分け前、記念(イザヤ 56:5)

イザヤ 56:4 なぜなら、【主】がこう言われるからだ。「わたしの安息日を守り、わたしの喜ぶことを選び、わたしの契約を堅く保つ宦官たちには、

56:5 わたしの家、わたしの城壁の内で、息子、娘にもまさる記念の

**名**を与え、絶えることのない永遠の名を与える。

記念の名=(**יָד**) (**שֵׁם**) Yad Vashem 「◀ 3027. yad 1617 回▶」 & 「◀ 8034. shem 864 回▶名」 =手と名前

Yad が手と訳されるのは 1164 回、その他さまざまな意味で訳されている。

(改 2)分け前と名 = (NKJV では a place and a name と訳されている。

15:13 サムエルはサウルのところに来た。サウルは彼に言った。「あなたが【主】に**祝福されます**ように。私は【主】の**ことば**を守りました。」

祝福する = バラク ◀ 1288. (**בָּרַךְ**) barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

I サム 15:15 サウルは答えた。「アマレク人のところから連れて来ました。兵たちは、あなたの神、【主】に、いけにえを献げるために、羊と牛の最も良いものを惜しんだのです。しかし、残りの物は聖絶しました。」

兵たち = (改 2)民 = ◀ 5971. am(**אָמ**) 1868 回▶ 民

兵たちは = 責任転嫁

あなたの神 = 自分の神という自覚がない

15:17 サムエルは言った。「あなたは、自分の目には小さい者であっても、イスラエルの諸部族のかしらではありませんか。【主】があなたに油を注ぎ、イスラエルの王とされたのです。」

小さい者であっても = コンプレックスが恐れを生じさせた。

1サム 18:8 サウルは、このことばを聞いて激しく怒り、不機嫌になって言った。「ダビデには万と言ひ、私には千と言う。あれにないのは王位だけだ。」

15:20 サウルはサムエルに答えた。「私は、【主】の御声に聞き従ひ、【主】が私に授けられた使命の道を進みました。私はアマレク人の王アガグを連れて来て、アマレク人たちは聖絶しました。

聞き従ひました＝盲目（従っていない）

ホセア 6:6 わたしが喜びとするのは真実の愛（へセド）。いけにえではない。全焼のささげ物よりむしろ、神を知ることである。

エレミヤ 42:6 それが良くても悪くても、私たちは、あなたを遣わされた私たちの神、【主】の御声に聞き従ひます。私たちの神、【主】の御声に聞き従って幸せを得るためです。」

。 15:23 従わないことは占ひの罪、高慢は偶像礼拝の悪。あなたが【主】のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」(改4)

従わないこと＝◀ 4805. meri (מֵרִי) 23回 ▶ 反抗

占ひ＝◀ 7081. qesem (קֶסֶם) 11回 ▶ 占ひ (KJV) witchcraft 魔術。

「偶像礼拝」は神の權威を認めず他のものに伺いを立てる事

(改2)そむくことは占ひの罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ。

高慢、＝◀ 6484. Patsar (פָּצָר) 7回 ▶ 勧める、反抗する、無理強いする、促す

(創世記 33:11) ヤコブがしきりに勧めたので、エサウは受け取った。

(創世記 19:3) しかし、ロトがしきりに勧めたので、彼らは彼のところに立ち寄り、

(創世記 19:9) 彼らはロトのからだに激しく迫り、戸を破ろうと近づいた。

偶像礼拝=◀ 8655. Teraphim (תְּרָפִים) 15 回▶ 家庭内偶像、偶像

創世記 31:19 そのとき、ラバンは自分の羊の毛を刈りに出ていた。ラケルは、父が所有しているテラフィムを盗み出した。

偶像礼拝という言葉は(改 4)で唯一この箇所だけ登場する。

@ 通常「偶像」は◀ 6459. pesel (פֶּסֶל) 30 回▶ 偶像、イメージ、形出 20:4 あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。

悪=「◀ 205. aven (אָוֶן) 78 回▶ 悪、邪悪

15:24 サウルはサムエルに言った。「私は罪を犯しました。兵たちを恐れて、彼らの声に従い、【主】の命令と、あなたのことばに背いたからです。

私は罪を犯した」=悔い改めでない。単に早い解決を求めただけ  
民を恐れて、彼らの声に従った」=人への恐れ

15:25 どうか今、私の罪を見逃してください。そして、私が【主】を礼拝することができるように、一緒に帰ってください。」

礼拝する=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

一緒に帰ってください = =プライド (民の前で面目を立てたい)

@人を恐れる

15:30 サウルは言った。「私は罪を犯しました。しかし、どうか今は、私の民の長老とイスラエルとの前で私を立ててください。どうか一緒に帰ってください。私はあなたの神、【主】を礼拝します。」

礼拝します=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改4) 礼拝します ★

私を立ててください」=悔い改めが無い

あなたの神」=自分の神ではないのか？

@あなたの息子 (ルカ 15 : 30) 放蕩息子の兄

15:31 サムエルはサウルについて帰り、サウルは【主】を礼拝した。

礼拝した=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改4) 礼拝した ★

15:33 サムエルは言った。「おまえの剣が、女たちから子を奪ったように、おまえの母も、女たちのうちで子を奪われた者となる。」こうしてサムエルは、ギルガルにおいて【主】の前で、アガグをずたずたに切った。

16:7 【主】はサムエルに言われた。「彼の容貌や背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、【主】は心を見る。」

16:11 サムエルはエッサイに言った。「子どもたちはこれで全部ですか。」エッサイは言った。「まだ末の子が残っています。今、羊の番をしています。」サム

エルはエッサイに言った。「人を遣わして、連れて来なさい。その子が来るまで、私たちはここを離れないから。」

これで全部ですか=招かれていなかった

16:12 エッサイは人を遣わして、彼を連れて来させた。彼は**血色が良く**、目が美しく、姿も立派だった。【主】は言われた。「さあ、彼に油を注げ。この者がその人だ。」

血色が良く=◀ 132. Admoni(אָדמאָני) 3回▶(A)赤い

語源は◀ 119. Adom(אָדאָם) 10回▶ (V) 赤くする

@預言的運命の油注ぎ

16:13 サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油を注いだ。【主】の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰って行った。

@さげすまれた者を主は人々の真中で高く上げる

16:14 さて、【主】の霊はサウルを離れ去り、【主】からの、わざわいの霊が彼をおびえさせた。

◀ 7451. ra'(רָא) 667回▶(N)(A)悪い、 悪

(改4) 【主】からの、わざわいの霊=(改2)主からの悪い霊

@神からの悪い霊

イザヤ 45:7 わたしは光を造り出し、闇を創造し、平和をつくり、わざわいを創造する。わたしは【主】、これらすべてを行う者。

@主は悪霊に対して権威がある

第1コリント 5:5 そのような者を、その肉が滅ぼされるようにサタンに引き渡したのです。それによって彼の霊が主の日に救われるためです。(魂の欲)

第1テモテ 1:20 その中には、ヒメナイとアレクサンドロがいます。私は、神を冒瀆してはならないことを学ばせるため、彼らをサタンに引き渡しました。

16:18 家来の一人が答えた。「ご覧ください。ベツレヘム人エッサイの息子を見たことがあります。弦を上手に奏でることができ、勇士であり、戦士の出でず。物事の判断ができ、体格も良い人です。【主】が彼とともにおられます。」

物事の判断ができ = ◀ 995. Bin(בִּין) 169 回 ▶ (V)見分ける

体格も良い人 = ◀ 8389. Toar(טֹאֵר) 15 回 ▶ (N)外見

17:4 一人の代表戦士が、ペリシテ人の陣営から出て来た。その名はゴリヤテ。ガテの生まれで、その背の高さは六キュビト半。

ゴリヤテ = ◀ 1555. Golyath(גֹּלְיָת) 6 回 ▶ 人。 (素晴らしいの意味)

17:7 槍の柄は機織りの巻き棒のようであり、槍の穂先は鉄で、六百シェケルあった。盾持ちが彼の前を歩いていた。

盾持ちが先を歩いていた (17:41)、自分の盾を持たない愚かさ (エペ6:16)

17:8 ゴリヤテは突っ立って、イスラエル人の陣列に向かって叫んだ。「何のために、おまえらは出て来て、戦いの備えをするのか。おれはペリシテ人、おまえらはサウルの奴隷どもではないか。一人を選んで、おれのところによこせ。

備えをする = ◀ 6186. Arak(אָרַךְ) 76 回 ▶ (V)アレンジする、秩序を整える

◀ 6186. arak ▶ = Definition: to arrange or set in order

= (改 2)なぜ並んで出てきたのか」 = 敵はわれわれが一致する事を嫌う

17:11 サウルと全イスラエルは、ペリシテ人のことばを聞き、気をくじかれて非常に恐れた。

17:15 ダビデは、サウルのところへ行ったり、帰ったりしていた。ベツレヘムの父の羊を世話するためであった。

@行ったり = 豎琴をひく為 「帰ったり」 羊を飼うため

ミニストリーに入った後も仕事をし、責務を忘れない。

@この頃、ダビデは 15 歳ぐらい

17:16 例のペリシテ人は、四十日間、朝早くと夕暮れに出て来て立ち構えた。

17:24 イスラエル人はみな、この男を見たとき、彼の前から逃げ、非常に恐れた。

17:28 兄のエリアブは、ダビデが人々と話しているのを聞いた。エリアブはダビデに怒りを燃やして言った。「いったい、おまえは、なぜやって来たのか。荒野にいるあのわずかな羊を、だれに預けて来たのか。私には、おまえのうめばれと心にある悪が分かっている。戦いを見にやって来たのではないのか。」

@「ダビデが人々と話しているのを聞いた。」 = 信仰のチャレンジを彼が受け止めているのを見た。



@戦いを見にやって来たのだろう＝それは受け入れがたかったので彼自身で別の解釈をした

@「見るだけ」＝彼自身のフラストレーション（エリアブも見ているだけで何もできなかった。

@自分が圧迫されている時には他の人をも圧迫してしまう。

@批判する人はその人と自身もフラストレーションがある

17:29 ダビデは言った。「私が今、何をしたというのですか。一言、話しただけではありませんか。」

@ダビデは感情的にならず思慮深く答えた

@チャレンジに敵対するもの

① 思い（17：6） ②兄弟（17：28） ③権威者（17：33）

② ④肉的装備（17：19） ⑤巨人（17：42） ⑥悪い言葉

17:30 ダビデは兄から別の人の方に向き直り、同じことを尋ねた。すると、兵たちは先ほどと同じ返事をした。

別の人の方に向き直り＝めげなかった

17:34 ダビデはサウルに言った。「しもべは、父のために羊の群れを飼ってきました。獅子や熊が来て、群れの羊を取って行くと、

羊の群れを飼ってきました＝@小さい事に忠実であった

① 忠実

② 他の人のものに対しても

③ 命がけ

④ 雇い人でない

⑤ 彼は牧者であった

17:35 しもべはその後を追って出て、それを打ち殺し、その口から羊を救い出します。それがしもべに襲いかかるようなときは、そのひげをつかみ、それを打って殺してしまいます。

17:36 しもべは、獅子でも熊でも打ち殺しました。この無割礼のペリシテ人も、これらの獣の一匹のようになるでしょう。生ける神の陣をそしたのですから。」

ルカ 16:10 最も小さなことに忠実な人は、大きなことにも忠実であり、最も小さなことに不忠実な人は、大きなことにも不忠実です。

ヨハネ 10:12 牧者でない雇い人は、羊たちが自分のものではないので、狼が来るのを見ると、置き去りにして逃げてしまいます。それで、狼は羊たちを奪ったり散らしたりします。

17:37 そして、ダビデは言った。「獅子や熊の爪からしもべを救い出してください。【主】は、このペリシテ人の手からも私を救い出してください。」サウルはダビデに言った。「行きなさい。【主】がおまえとともにいてくださるように。」

@権威者の祝福の元で行く

17:39 ダビデは、そのよろいの上にサウルの剣を帯びた。慣れていなかったので、ためしに歩いてみた。ダビデはサウルに言った。「これらのものを着けては、歩くこともできません。慣れていませんから。」ダビデはそれを脱いだ。

@ ①他人の方法で無い、②自分の限界を知る

@しかし後にゴリアテの剣をも振れるようになった(1サム2 1:9)

17:40 そして自分の杖を手に取り、川から五つの滑らかな石を選んで、それを羊飼いの使う袋、投石袋に入れ、石投げを手にし、そのペリシテ人に近づいて行った。

@川=◀ 5158. nachal (נַחַל)141回▶=川、ヤボクの渡し((共)Ge 32:23)、谷間(Gen 26:19)、ワディ、

17:45 ダビデはペリシテ人に言った。「おまえは、剣と槍と投げ槍を持って私に向かって来るが、私は、おまえがそしったイスラエルの戦陣の神、万軍の【主】の御名によって、おまえに立ち向かう。

戦陣=◀ 4634. maarakah (מַעְרָכָה)0(19回)▶列、ランク、戦線  
(協共)戦列

17:47 ここに集まっているすべての者も、剣や槍がなくても、【主】が救いをもたらすことを知るだろう。この戦いは【主】の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手に渡される。」

17:48 そのとき、そのペリシテ人はダビデの方に近づき始めた。ダビデは、すばやく戦場を走って行き、ペリシテ人に立ち向かった。

17:49 ダビデは手を袋の中に入れて、石を一つ取り、石投げでそれを放って、ペリシテ人の額を撃った。石は額に食い込み、彼はうつぶせに地面に倒れた。

@ダビデが投げるフォームを取ったときによける事をしなかった、=高慢

17:51 ダビデは走って行ってペリシテ人の上に立ち、彼の剣を奪ってさやから

抜き、とどめを刺して首をはねた。ペリシテ人たちは、自分たちの勇士が死んだのを見て逃げた。

17:52 イスラエルとユダの人々は立ち上がり、ときの声をあげて、ペリシテ人をガイの谷間に至るまで、そしてエクロンの門まで追った。それでペリシテ人は、シャアライムの道に、ガテとエクロンに至るまで、刺し殺されて倒れていた。

17:53 イスラエル人はペリシテ人追撃から引き返して、ペリシテ人の陣営を略奪した。

略奪した」、敵から奪い返す（エレ39：18）

エレ 39:18 わたしは必ずあなたを助け出す。あなたは剣に倒れず、あなたのいのちは戦勝品としてあなたのものになる。あなたがわたしに信頼したからだ——【主】のことば。』

18:1 ダビデがサウルと語り終えたとき、ヨナタンの心はダビデの心に結びつ  
いた。ヨナタンは、自分自身のようにダビデを愛した。

結びついた＝◀ 7194. Qashar (קָשָׁר) 44 回▶ 謀反を行う(21 回)、結ぶ、連帯する、同盟する、強い(Gen30:41-42)

創世記 38:28 その手に真っ赤な糸を結び付けて言った。「

創世記 30:41 また、強い群れにさかりがついたときに、・・・30:42 強いものはヤコブのものとなった。

1サム 22:8 それなのに、おまえたちはみな私に謀反を企てている。

1サム 18:6 皆が戻り、ダビデがあのでペリシテ人を討ち取って帰って来たとき、女たちは、イスラエルのすべての町から、タンバリンや三弦の琴をもって、喜びつつ、歌い踊りながら出て来て、サウル王を迎えた。

18:8 サウルは、このことばを聞いて激しく怒り、不機嫌になって言った。「ダビデには万と言ひ、私には千と言う。あれにないのは王位だけだ。」

18:10 その翌日、わざわいをもたらす、神の霊がサウルに激しく下り、彼は家の中で狂いわめいた。ダビデはいつものように豎琴を手にして弾いたが、サウルの手には槍があった。(改4)

わざわいをもたらす、神の霊=(改2)神からの悪い霊

わざわいをもたらす=◀ 7451. ra'(רָא) 667回▶(N)(A)悪い、悪

1 サム 16:14 さて、【主】の霊はサウルを離れ去り、【主】からの、わざわいの霊が彼をおびえさせた。

18:14 【主】が彼とともにおられたので、ダビデは、行くところどこでも勝利を収めた。

18:25 サウルは言った。「ダビデにこう言うがよい。王は花嫁料を望んではいない。ただ王の敵に復讐するため、ペリシテ人の陽の皮百だけを望んでいると。」サウルは、ダビデをペリシテ人の手で倒そうと考えていた。

18:26 サウルの家来たちはこのことばをダビデに告げた。王の婿になることは、ダビデの目には良いことに思えた。そこで、期限が過ぎる前に、

18:27 ダビデは立って、部下と出て行き、ペリシテ人二百人を討って、その陽の皮を持ち帰った。こうしてダビデは、王の婿になるために、王に対して約束を果たした。サウルは娘ミカルを妻としてダビデに与えた。

第2サム 3:14 ダビデはサウルの子イシュ・ボシェテに使者を遣わして言った。「私がペリシテ人の陽の皮百をもってめとった、私の妻ミカルを返していただきたい。」

陽の皮百＝ダビデのへりくだり＝本当は2百

18:28 サウルは、【主】がダビデとともにおられ、サウルの娘ミカルがダビデを愛していることを見、また知った。

18:29 サウルは、ますますダビデを恐れた。サウルはずっと、ダビデの敵となった。

19:4 ヨナタンはダビデを弁護し、父サウルに言った。「王よ、しもべダビデのことで罪を犯さないでください。彼はあなたに対して罪を犯してはいません。むしろ、彼のしたことは、あなたにとって大きな益となっています。

19:5 彼が自分のいのちをかけてペリシテ人を討ったので、【主】は大きな勝利をイスラエル全体にもたらしてくださったのです。あなたはそれを見て喜ばれました。なぜ、何の理由もなくダビデを殺し、咎のない者の血を流して、罪ある者となられるのですか。」

何の理由もなく＝◀ 2600. chinnam (חִנָּם)(ヘナム) 32回▶(A)ただで、理由もなく、費用をかけずに(2 歴 21:24)

第1 歴代 21:24 ダビデ王はオルナンに言った。「いや、私はどうしても十分な金額で買いたい。あなたのものを【主】に献げるわけにはいかない。費用もかけずに全焼のささげ物を献げたくないのだ。」

19:9 わざわざをもたらす、【主】の霊がサウルに臨んだ。サウルは自分の家で座っていて、手には槍を持っていた。ダビデは豎琴を手にして弾いていた。

わざわざをもたらす、【主】の霊＝(רוּחַ) (יהוה) (רוּחַ) ruah Yahweh raah 主か

らの悪い霊

◀ 7307. ruach 377 回 ▶ ◀ 3068.

Yhvh 6220 回 ▶ ◀ 7451. ra' 667 回 ▶

(改 2)主からの悪い霊

19:20 サウルはダビデを捕らえようと、使者たちを遣わした。彼らは、預言者の一団が預言し、サムエルがその監督をする者として立っているのを見た。神の霊がサウルの使者たちに臨み、彼らもまた、預言した。

@預言者学校

19:24 彼もまた衣類を脱ぎ、サムエルの前で預言し、一昼夜、裸のまま倒れていた。このために、「サウルも預言者の一人なのか」と言われるようになった。

@ 着物を脱いで預言」、

(民 11:25 すると【主】は雲の中にあって降りて来て、モーセと語り、彼の上にある霊から一部を取って、その七十人の長老に与えられた。その霊が彼らの上にとどまると、**彼らは預言した。**しかし、重ねてそれをする事はなかった。

彼らは預言した。=(改 2)彼らは恍惚状態で預言した。

20:33 すると、サウルは槍をヨナタンに投げつけて撃ち殺そうとした。それでヨナタンは、父がダビデを殺そうと決心しているのを知った。

20:41 子どもが行くと、ダビデは南側から出て来て地に**ひれ伏し**、**三度礼をした**。二人は口づけし、抱き合って泣いた。ダビデはいっそう激しく泣いた。

ひれ伏し=◀ 639. Aph(אֶפֶס) 276 回(怒り、顔、鼻)▶を◀ 5307. Naphal(נָפַל) 435 回(落とす、横たえる)▶した

礼をした=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT) \*bow (改 4) ひれ伏し

20:42 ヨナタンはダビデに言った。「安心して行ってください。私たち二人は、『【主】が、私とあなた、また、私の子孫とあなたの子孫との間の永遠の証人です』と言って、【主】の御名によって誓ったのです。」そして、ダビデは立ち去った。ヨナタンは町へ帰って行った。

@ 「そして、ダビデは立ち去った。ヨナタンは町へ帰って行った」

この箇所は(HUB)だと 21 章 1 節

21:1 ダビデはノブの祭司アヒメレクのところに来た。アヒメレクは震えながら、ダビデを迎えて言った。「なぜ、お一人で、だれもお供がいないのですか。」

@この箇所は (HUB) だと 21 章 2 節、以後

21:4 祭司はダビデに答えて言った。「手もとには、普通のパンはありません。ですが、もし若い者たちが女たちから身を遠ざけているなら、聖別されたパンはあります。」

21:9 祭司は言った。「ご覧ください。あなたがエラの谷で討ち取ったペリシテ人 ゴリヤテの剣 が、エポデのうしろに布に包んであります。よろしければ、持って行ってください。ここには、それしかありませんから。」ダビデは言った。「それにまさるものはありません。私に下さい。」

ゴリヤテの剣



@ ゴリアテの剣、

(詩 18:34 戦いのために私の手を鍛え腕が青銅の弓も引けるようにしてください。

第1サムエル 17:51 ダビデは走って行ってペリシテ人の上に立ち、彼の剣を奪ってさやから抜き、とどめを刺して首をはねた。ペリシテ人たちは、自分たちの勇士が死んだのを見て逃げた。

@このあたり Bible Hub だと 1 節ずれる (早くなる) 新改訳の 13 節は Bible Hub の 12 節

21:13 ダビデは彼らの前でおかしくなったかのようにふるまい、捕らえられて **気が変になったふりをした**。彼は門の扉に傷をつけたり、ひげによだれを垂らしたりした。

気が変になったふりをした=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

1 Samuel 21:14 (NAS): behaving as a madman. (NKJ) feigned madness (改4) 気が変になったふりをした

21:14 アキシユは家来たちに言った。「おい、おまえたちも見ているように、この男は **気がふれている**。なぜ、私のところに連れて来たのか。

気がふれている=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

@(HUB)だと 14 節と 15 節が合わさって 15 節となっている。

1 節からずれているのが補正されています。

21:15 私のところに **気がふれた者**が不足しているとでもいうのか。私の前で

気がふれているのを見せるために、この男を連れて来るとは。この男を私の家に入れようとでもいうのか。」

気がふれた者 = ◀ 7696. shaga (שאג) 7回 ▶ to be mad (現)クレイジー

22:1 ダビデはそこを去って、アドラムの洞穴に避難した。彼の兄弟たちや父の家の者はみな、これを聞いてダビデのところへと下って来た。

@不満のある、《R V》 苦い思いのある =

第1 歴代誌 12:1 ダビデがまだキシユの子サウルから身を避けていたとき、ツィクラグの彼のもとに来た人たちは次のとおりである。彼らは、勇士たちの中で戦いの加勢をした人たちであり、12:22 人々はダビデを助けるため、日に日に彼のもとに来て、ついに神の陣営のような大陣営となった。

22:2 そして、困窮している者、負債のある者、不満のある者たちもみな、彼のところに集まって来たので、ダビデは彼らの長となった。約四百人の者が彼とともにいるようになった。

@アドラム、=神の国の型

Adullam = "justice of the people" 人々の義の意味(BB)

22:15 私が彼のために神に伺うのは、今日に始まったことでしょうか。決して、そんなことはありません。王様。このしもべや、父の家の者全員に汚名を着せないでください。あなたのしもべは、この事件について、いっさい知らないのですから。」

22:17 王は、そばに立っていた近衛兵たちに言った。「近寄って、【主】の祭司

たちを殺せ。彼らはダビデにくみし、ダビデが逃げているのを知りながら、それを私の耳に入れなかったからだ。」しかし王の家来たちは、【主】の祭司たちに手を下して討ちかかろうとはしなかった。

殺せ= ◀ 6293.( פגג ) paga 46 回 ▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1サム 22:17)。打ちかかる(1サム 22:18)(2サム 1:15)。討ち取る(1列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ 36:25)。

22:18 王はドエグに言った。「おまえが行って祭司たちに討ちかかれ。」そこでエドム人ドエグが行って、祭司たちに討ちかかった。その日彼は、亜麻布のエポデを着ていた人を八十五人殺した。

打ちかかれ= ◀ 6293.( פגג ) paga 46 回 ▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1サム 22:17)。打ちかかる(1サム 22:18)(2サム 1:15)。討ち取る(1列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ 36:25)。

22:23 私と一緒にいなさい。恐れることはない。私のいのちを狙う者は、あなたのいのちを狙う。しかし私と一緒にいれば、あなたは安全だ。」

@教会に分裂を起こさせる者から守られるには牧者の側につくことである。

23:1 「今、ペリシテ人がケイラを攻めて、打ち場を略奪しています」と言って、ダビデに告げる者がいた。

23:2 ダビデは【主】に伺って言った。「行って、このペリシテ人たちを討つべきでしょうか。」【主】はダビデに言われた。「行け。ペリシテ人を討ち、ケイラを救え。」

【主】に伺って言った＝

23:4 ダビデはもう一度、【主】に伺った。すると【主】は答えられた。「さあ、ケイラに下って行け。わたしがペリシテ人をあなたの手に渡すから。」

23:11 ケイラの者たちは私を彼の手に引き渡すでしょうか。サウルは、しもべが聞いたとおりに下って来るでしょうか。イスラエルの神、【主】よ。どうか、しもべにお告げください。」【主】は言われた。「彼は下って来る。」

」

23:16 サウルの息子ヨナタンは、ホレシュのダビデのところに行って、神によってダビデを力づけた。(改 4)

@(改 2) 神の御名によってダビデを力づけた。

@神の御名によって、(23:17) 私はあなたの次に立つ者となるでしょう  
主の御名によって語ったが実現しなかった、肉的な預言

@ (へ) ヤドウ・ベロヒム=(בְּאֵלֶיִם)(יָדוּ)=his hand in God

@ (共) 23:16 ダビデのもとに来て、神に頼るようにとダビデを励まして、

@ (NK J) 23:16 strengthened his hand in God.

@ (口) 23:16 ダビデのもとに行き、神によって彼を力づけた

23:21 サウルは言った。「【主】の**祝福が**あなたがたにあるように。あなたがたが私のことを思ってくれたからだ。

祝福する=バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

24:4 ダビデの部下はダビデに言った。「今日こそ、【主】があなた様に、『見よ、わたしはあなたの敵をあなたの手に渡す。彼をあなたの良いと思うようにせよ』と言われた、その日です。」ダビデは立ち上がり、サウルの上着の裾を、こっそり切り取った。

従者は血気盛んであった

第1サムエル 26:8 アビシャイはダビデに言った。「神は今日、あなたの敵をあなたの手に渡されました。どうか私に、槍で一気に彼を地面に突き刺させてください。二度することはしません。」

24:6 彼は部下に言った。「私が【主】に逆らって、【主】に油注がれた方、私の主君に対して、そのようなことをして手を下すなど、絶対にあり得ないことだ。彼は【主】に油注がれた方なのだから。」

第1サムエル 24:10 今日、【主】が洞穴で私の手にあなたをお渡しになったのを、あなたの目はご覧になったのです。ある者はあなたを殺すようにと言ったのですが、私は、あなたのことを思って、『私の主君に手を下すことはしない。あの方は【主】に油注がれた方だから』と言いました。

詩篇 105:15 「わたしの油注がれた者たちに触れるな。わたしの預言者たちに危害を加えるな。」

第1サムエル 26:9 ダビデはアビシャイに言った。「殺してはならない。【主】に油注がれた方に手を下して、だれが罰を免れるだろうか。」

24:8 ダビデも洞穴から出て行き、サウルのうしろから呼びかけ、「王よ」と言った。サウルがうしろを振り向くと、ダビデは地にひれ伏して、礼をした。

ひれ伏して、礼をした＝顔を地につけてシャハーした

ひれ伏して、礼をした＝シャハー＝◀7812. shachah (שָׁחָה) (172回) ▶ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT) \*bow (改4) ひれ伏して、礼をした

原語では「顔を地に着けシャハーした」

24:16 ダビデがこれらのことばをサウルに語り終えたとき、サウルは「これはおまえの声なのか。わが子ダビデよ」と言った。サウルは声をあげて泣いた。

わが子ダビデよ」＝けれどもこの1週間後（1サム26：1）再びダビデを追い始めた

苦い思いは尽きない、ヨナタンを殺そうとした

@ (第1サムエル I サム 20:33 すると、サウルは槍をヨナタンに投げつけて撃ち殺そうとした。それでヨナタンは、父がダビデを殺そうと決心しているのを知った。

。

25:3 この人の名はナバルといい、妻の名はアビガイルといった。この女は賢明で姿が美しかったが、夫は頑迷で行状が悪かった。彼はカレブ人であった。

ナバル＝ 「おろか」の意味

アビガイル＝ 「わが父は喜び」の意味

カレブ人＝ ユダ族カレブの子孫

25:6 わが同胞に、こう言いなさい。『あなたに平安がありますように。あなたの家に平安がありますように。また、あなたのすべてのものに平安がありますように。

平安＝シャローム＊3

25:14 ナバルの妻アビガイルに、若者の一人が告げて言った。「ダビデがご主人様に祝福のあいさつをするために、荒野から使者たちを遣わしたのに、ご主人様は彼らをののしりました。

祝福のあいさつをする＝バラク◀ 1288. (גַּרַב)barak 330回▶ 祝福する 316回 (英)の内 74回ほめる(改4)。

(NAS): greet あいさつ (KJV): salute

25:16 一緒に羊を飼っている間は、夜も昼も、彼らは私たちのために防壁となってくれました。

@防壁＝ (へ) ホマ◀ 2346. chomah ▶

城壁となつて」＝他人(ナバル)の物を守った、他人の物に忠実(ルカ16:

25:23 アビガイルはダビデを見ると、急いでろばから降り、ダビデの前で顔を伏せて地面にひれ伏した。

ひれ伏した＝シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT) \*bow (改4) ひれ伏した

25:28 どうか、はしための背きをお赦してください。【主】は必ず、ご主人様のために、確かな家をお建てになるでしょう。ご主人様は【主】の戦いを戦っておられるのですから。あなたのうちには、一生の間、悪が見出されてはなりません。

25:29 人があなたを追って、いのちを狙おうとしても、ご主人様のいのちは、あなたの神、【主】によって、いのちの袋にしまわれています。あなたの敵のいのちは、主が石投げのくぼみに入れて投げつけられるでしょう。

命の袋に入れられるの反対は、石投げのくぼみに入れられる。

25:32 ダビデはアビガイルに言った。「イスラエルの神、【主】がほめたたえられますように。主は今日、あなたを送り、私に会わせてくださった。

25:33 あなたの判断がほめたたえられるように。また、あなたが、ほめたたえられるように。あなたは今日、私が人の血を流しに行き、私自身の手で復讐しようとするのをやめさせた。

25:39 ダビデはナバルが死んだことを聞いて言った。「【主】がほめたたえられますように。主は、私がナバルの手から受けた恥辱に対する私の訴えを取り上げ、このしもべが悪を行うのを引き止めてくださった。【主】はナバルの



悪の報いをその頭上に返された。」ダビデは人を遣わして、アビガイルに自分の妻になるよう申し入れた。

ほめたたえられますように=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改4)ほめたたえる

25:32 ダビデはアビガイルに言った。「イスラエルの神、【主】がほめたたえられますように。主は今日、あなたを送り、私に会わせてくださった。

25:33 あなたの判断がほめたたえられるように。また、あなたが、ほめたたえられるように。あなたは今日、私が人の血を流しに行き、私自身の手で復讐しようとするのをやめさせた。

(ロマ12：19) (ヘブ10：30) 復讐はわたしのすることである。」

25:38 十日ほどたって、【主】はナバルを打たれ、彼は死んだ。

25:39 ダビデはナバルが死んだことを聞いて言った。「【主】がほめたたえられますように。主は、私がナバルの手から受けた恥辱に対する私の訴えを取り上げ、このしもべが悪を行うのを引き止めてくださった。【主】はナバルの悪の報いをその頭上に返された。」ダビデは人を遣わして、アビガイルに自分の妻になるよう申し入れた。(改4)

@ (へ) そして(and)

@(改2) その後

25:41 彼女はすぐに、地にひれ伏して礼をし、そして言った。「さあ。このはしためは、ご主人様のしもべたちの足を洗う女奴隷となりましょう。」

彼女はすぐに=そして彼女は立ち上がって(V)= ◀ 6965. qum (קום) 627 回

▶ Definition: to arise, stand up, stand

礼をし=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、  
礼をする

(NAS) (KJV) (INT) \*bow (改 4)礼をし

25:42 アビガイルは急いで用意をして、ろばに乗り、彼女の五人の侍女を後に  
従え、ダビデの使者たちの後に従って行った。彼女はダビデの妻となった。

25:43 ダビデはイズレエルの出であるアヒノアムを妻としていたので、二人と  
もダビデの妻となった。

25:44 サウルはダビデの妻であった自分の娘ミカルを、ガリム出身のライシュ  
の子パーティに与えていた。

26:8 アビシャイはダビデに言った。「神は今日、あなたの敵をあなたの手に渡  
されました。どうか私に、槍で一氣に彼を地面に突き刺させてください。二度  
することはしません。」

26:9 ダビデはアビシャイに言った。「殺してはならない。【主】に油注がれた  
方に手を下して、だれが罰を免れるだろうか。」

26:10 ダビデは言った。「【主】は生きておられる。【主】は必ず彼を打たれる。  
時が来て死ぬか、戦いに下ったときに滅びるかだ。」

26:11 私が【主】に逆らって、【主】に油注がれた方に手を下すなど、絶対に  
あり得ないことだ。さあ、今は、枕もとにある槍と水差しを取って、ここから  
出て行こう。」

26:12 ダビデはサウルの枕もとの槍と水差しを取り、二人は立ち去ったが、だ  
れ一人としてこれを見た者も、気づいた者も、目を覚ました者もいなかった。

【主】が彼らを深い眠りに陥れられたので、みな眠り込んでいたのである。

@ (誰が?) 深い眠りに陥らせていたのか。「主が」、(なぜ?) それはダビデの心を試すためです。

@時々主は、誰かが間違いを犯すことを許されます。それは人の心を試すためです。

26:20 どうか今、私の血が【主】の御顔から離れた地に流されることがありませんように。イスラエルの王が、山でしゃこを追うように、一匹の蚤を狙って出て来ておられるのですから。」

しゃこ=partridge ヤマウズラ

26:25 サウルはダビデに言った。「わが子ダビデよ、おまえに祝福があるように。おまえは多くのことをするだろうが、それはきっと成功する。」ダビデは自分の道を行き、サウルは自分のところへ帰って行った。

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

27:1 ダビデは心の中で言った。「私はいつか、今にサウルの手によって滅ぼされるだろう。ペリシテ人の地に逃れるよりほかに道はない。そうすれば、サウルは、イスラエルの全領土内で私を捜すのをあきらめ、こうして私は彼の手から逃れられる。」

27:6 その日、アキシュはツィクラグをダビデに与えた。それゆえ、ツィクラグは今日まで、ユダの王たちに属している。

ツィクラグ=winding 「巻き取る」の意味=(改 2)ツィケラグ

27:10 アキシュが「今日は、どこを襲ったのか」と尋ねると、ダビデはいつも、ユダのネゲブとか、エラフメエル人のネゲブとか、ケニ人のネゲブとか答えて

いた。

@アキシユの好意を得ようとしてうそをついていた。

28:6 サウルは【主】に伺ったが、【主】は、夢によっても、ウリムによっても、預言者によってもお答えにならなかった。

28:9 女は彼に言った。「あなたは、サウルがこの国から霊媒や口寄せを断ち切ったことをご存じのはずです。それなのに、なぜ、私のいのちに罠をかけて、私を殺そうとするのですか。」

@窮地の中でかって御心だと信じてしていたことと反対のことを行ってしまう。

28 : 8 - 14 霊媒師によりサムエルを呼び出す。

28:13 王は彼女に言った。「恐れることはない。何を見たのか。」女はサウルに言った。「神々しい方が地から上って来るのを見ました。」

神々しい=◀ 430. elohim (אֱלֹהִים) 2598 回▶ 神 神々

@こうごうしい方=エロヒムが地から上ってきます

28:14 サウルは彼女に尋ねた。「どのような姿をしておられるか。」彼女は言った。「年老いた方が上って来られます。外套を着ておられます。」サウルは、その人がサムエルであることが分かって、地にひれ伏し、拝した。

ひれ伏し=カダド◀ 6915. qadad (קָדַד) 15 回▶ ひざまづく ひれ伏す ☆

拝した=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) did homage. (KJV) bowed (INT) homage (改4)礼拝した

「ひれ伏し、拝した」の場合多くは「シャハー」の一言だが、ここでは「カダド+シャハー」で表されている。

30 : 1 ~ 間違った行動の結果。

30 : 21 安否を尋ねた」=憐れみの心

30:22 ダビデと一緒にいった者たちのうち、**意地の悪い**、**よこしまな者**たちがみな、口々に言った。「彼らと一緒にいかなかったのだから、われわれが取り戻した分捕り物は、分けてやるわけにはいかない。ただ、それぞれ自分の妻と子どもを連れて行くがよい。」

@ 献身者なのに了見が狭い

意地の悪い、◀ 7451.(גַּר) ra' 27 回▶ 悪い、邪悪な

よこしまな = ◀ 1100. beliyyaal ▶ 邪悪な、値打ちの無い

30:23 ダビデは言った。「兄弟たちよ、**【主】**が私たちに下さった物を、そのようにしてはならない。主が私たちを守り、私たちが襲った略奪隊を私たちの手に渡されたのだ。

30:26 ダビデはツィクラグに帰って来て、友人である**ユダの長老たち**に戦勝品の一部を送って言った。「これはあなたがたへの贈り物で、**【主】**の敵からの戦勝品の一部です。」

30 : 26 - 31 15 の町々

30:31 ヘブロンの人々、すなわち、ダビデとその部下がさまよい歩いたすべて

の場所の人々であった。

@お世話になった人たちへの感謝（?）

31:4 サウルは道具持ちに言った。「おまえの剣を抜いて、私を刺し殺してくれ。さもないと、あの無割札の者たちがやって来て、私を刺し殺し、私をなぶりものにするだろう。」しかし、道具持ちは非常に恐れて、とうていその気になれなかった。それでサウルは剣を取り、その上に倒れ込んだ。

第1歴代誌 10:13 このように、サウルは【主】の信頼を裏切った不信の罪のゆえに死んだ。彼は【主】のことばを守らず、霊媒に伺いを立てることまでして、

10:14 【主】に尋ねることをしなかった。そのため、主は彼を殺し、王位をエッサイの子ダビデに回された。